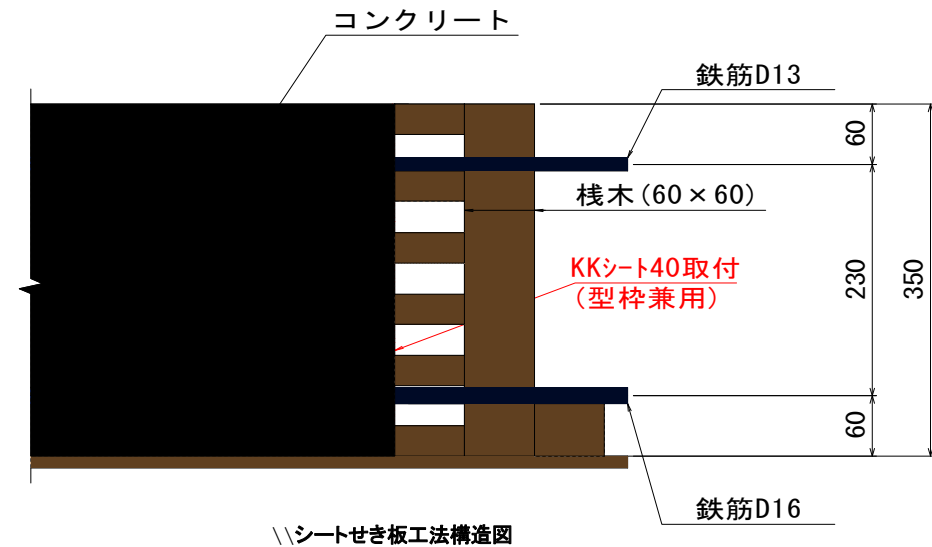


KKシート40を用いた床板打継ぎ部せき板工法の提案

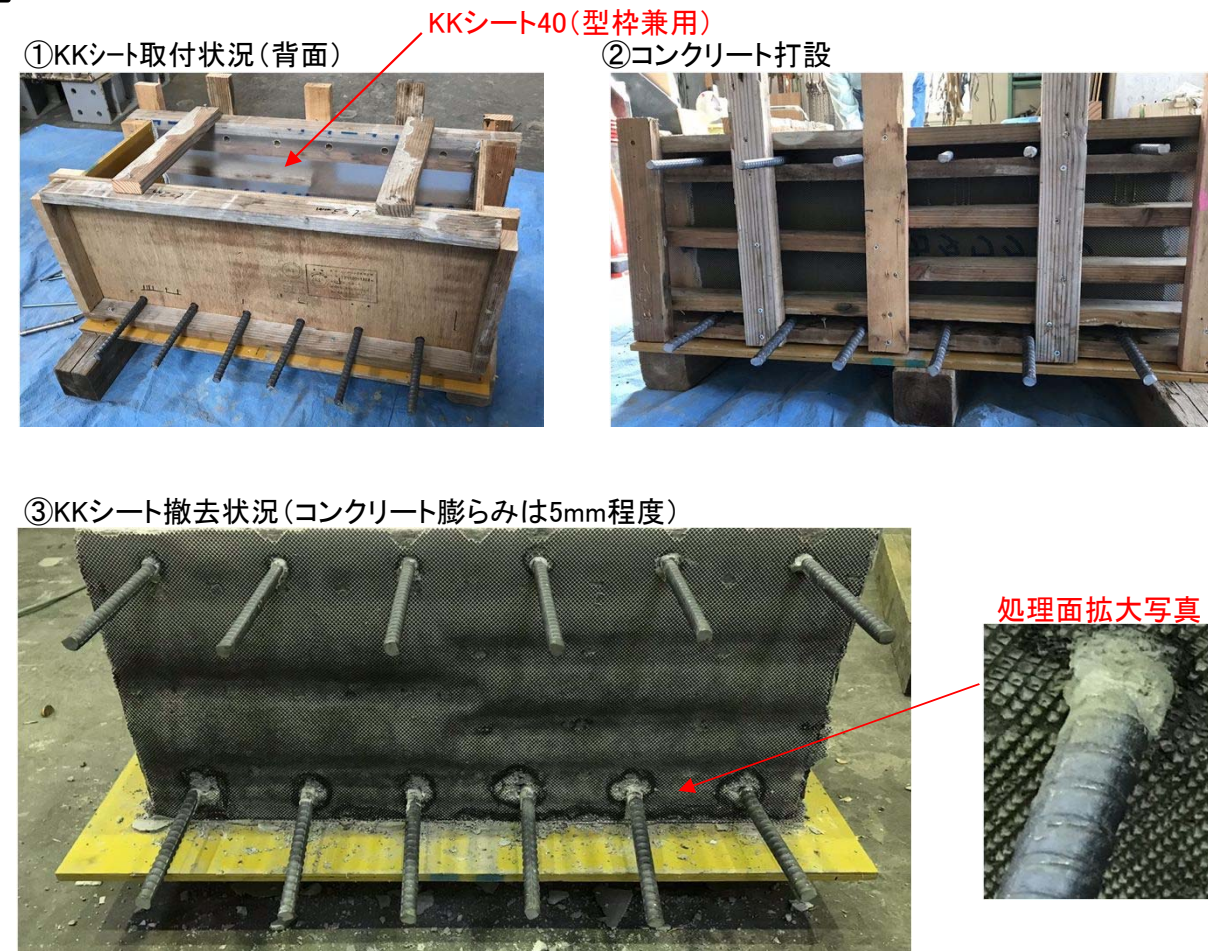
令和1年5月 協立エンジ(株)

1. 目的と効果

床板打継ぎ部の型枠(せき板)については、一般的に合板型枠と栈木が使用されています。しかし、合板への鉄筋の穴あけ、解体時に多くの労力を要します。
そこで、弊社はKKシート40と栈木のみを使用したKKシートせき板工法をご提案いたします。効果として、省力化、品質確保に優れ、生産性向上が図れます。

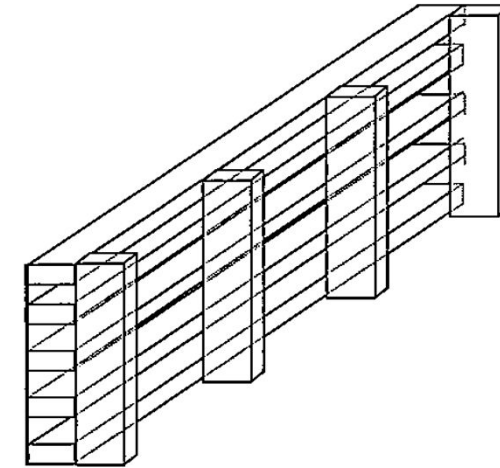


2. 試験施工

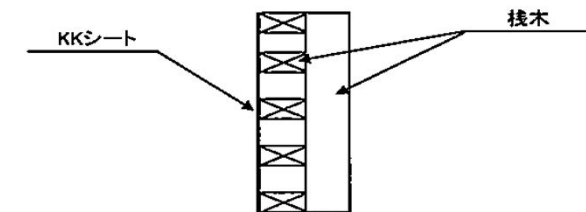


3. 組立手順例

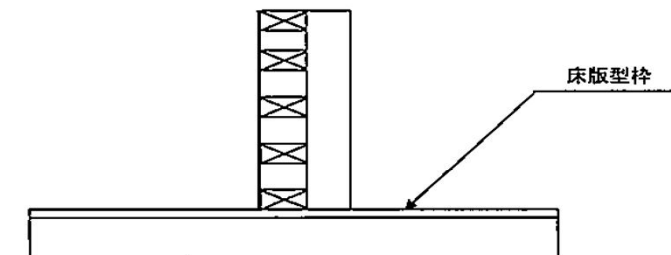
① せき板のフレームを栈木で組み立てる



② 栈木の位置は、通し筋の当たらない位置とする
KKシート40をタッカー等で栈木に張り付ける



③ せき板を床版型枠上に固定する



④ 床版鉄筋を組み、コンクリートを打設する
養生後、栈木・KKシートを取り外し、打継ぎ面の処理が完了する

